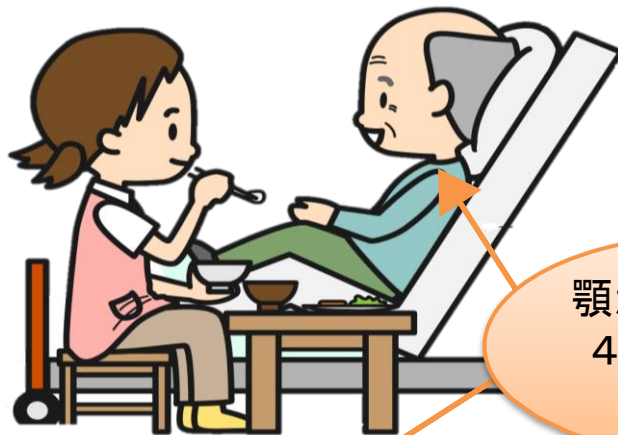
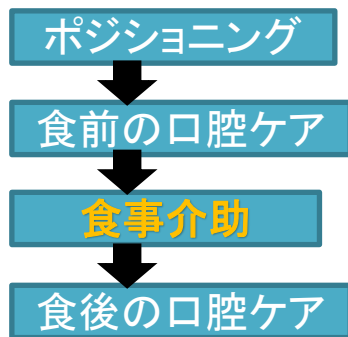


適切な食事介助について

食事介助が原因で「誤嚥」を誘発することがあります
安全に食事を楽しんでいただくためにも適切な介助方法を
確認しましょう



- ① 目線の高さを合わせて正面から
→ 上から介助すると頸部伸展位となり誤嚥を誘発します
- ② 一口量はティースプーン1杯程度
→ 一口量が多くなると飲み込みきれず咽頭に残留し、
誤嚥しやすくなります
- ③ 飲み込んだのを確認してから次の一口へいきましょう
→ 一人一人に合わせたペースで介助する意識を持ちましょう
- ④ 時間をかけすぎないようにしましょう
→ 食事時間が延長すると疲労感が出てくるので長くても30分程を
目安にしましょう

一口
一嚥下！

STが介入している場合、食事形態の調整以外にもポジショニングや
介助のポイントに記載した**注意書き**を置いています。
わからないことがあればSTへご相談下さい。

